

GRAN NEXT

Quarterly Report

2025年4-6月

追加型投信／内外／株式

GRAN NEXT エネルギー / GRAN NEXT フード / GRAN NEXT モビリティ / GRAN NEXT テクノロジー /
GRAN NEXT ヘルスサイエンス / GRAN NEXT フィナンシャルズ

追加型投信／国内／債券

GRAN NEXT マネープールファンド

平素はGRAN NEXTをご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

GRAN NEXTでは、メガトレンド(今後10年超にわたる長い潮流で起こりうる社会の変化やイノベーションを捉える)に関連した長期間持続すると考えられる6つの投資テーマをファンドとし、投資機会をご提供しております。

本資料では、2025年4-6月の運用状況を振り返りつつ、ブラックロックの直近の市場見通しに基づき、今後3ヵ月から6ヵ月にわたる見通しや着目しているピックアップテーマをご紹介します。

2025年4-6月の騰落率と今後の市場環境等の見通し

	2025年4-6月 騰落率	今後の市場環境等 の見通し
GRAN NEXT エネルギー	14.8%	
GRAN NEXT フード	1.5%	
GRAN NEXT モビリティ	5.5%	
GRAN NEXT テクノロジー	17.9%	
GRAN NEXT ヘルスサイエンス	-8.4%	
GRAN NEXT フィナンシャルズ	16.3%	

・上記6ファンド以外に、GRAN NEXT マネープールファンドもあります。・騰落率は2025年3月31日～2025年6月30日の騰落率です。分配金実績がある場合は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。・今後の見通しは、晴れはポジティブな見通し、曇りは横ばい、雨はネガティブな見通しを表しています。ブラックロックの直近の市場見通し資料「2025 Global Outlook」コメント等を基にした今後3ヵ月から6ヵ月程度の見通しです。・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

ブラックロック ピックアップテーマ



GRAN NEXT フィナンシャルズ

割安感と政策転換、新技術がもたらす構造的変化の可能性に注目

・本資料は、ブラックロック・ジャパン(ブラックロックという場合があります)の資料・コメントを基に作成しています。また、各外国投資法人の運用は、ブラックロックグループの投資顧問会社が行います。・上記6ファンドを総称して「ファンド」、各々のファンドを「各ファンド」という場合があります。・本資料は、各ファンドをご理解いただくために運用状況を説明したものです。このため、ファンドの商品性、リスク、お申込みメモなどについては最新の投資信託説明書(交付目論見書)をご確認いただく必要があります。

2025年4-6月の運用状況と基準価額(分配金再投資)の推移



GRAN NEXT エネルギー

- トランプ政権下におけるエネルギー政策見直しが懸念されていたが、インフレ抑制法(IRA)に基づく税制優遇措置に対する見直し案が発表されると、発表前に織り込まれていた悲観的な見方に対して現実的な対応が示されたことが好感され、エネルギーセクターは堅調に推移した。
- 再生可能エネルギー技術、蓄電・インフラ、クリーン電力事業者の3分野が好調で、特にファースト・ソーラーやネクストラッカーはIRA見直し案における大規模な再生可能エネルギー開発に対する支援継続の示唆や、税控除の繰り越しが可能となる条項が市場に好感されて株価を伸ばし、当ファンドのパフォーマンスにプラス寄与した。

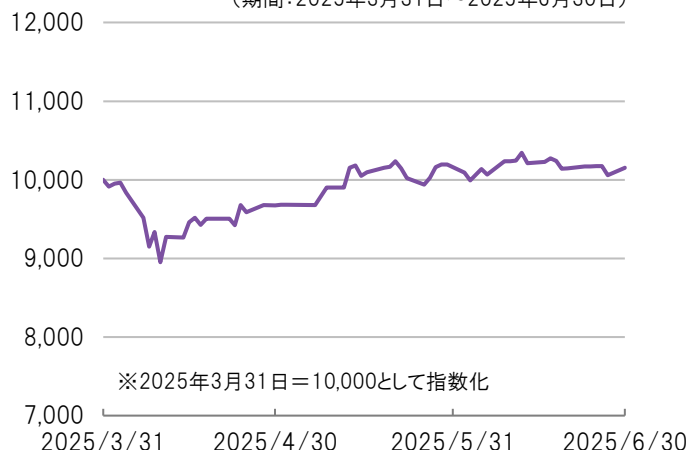
(期間:2025年3月31日～2025年6月30日)



GRAN NEXT フード

- カナダを拠点にディスカウント小売業を展開し、安価な日用品や食品・雑貨等を提供しているダラマは低価格帯を志向する消費者の増加を背景に株価が堅調に推移。当ファンドのパフォーマンスにプラス寄与した。
- ノルウェーを拠点としてサーモンの養殖・加工事業を展開するサルマールは、収穫量減少による減益を受けて株価が下落。パフォーマンスにマイナスの影響を与えた。同社は、環境保全や持続可能な漁業等、サステナブルな生産に取り組む企業である。

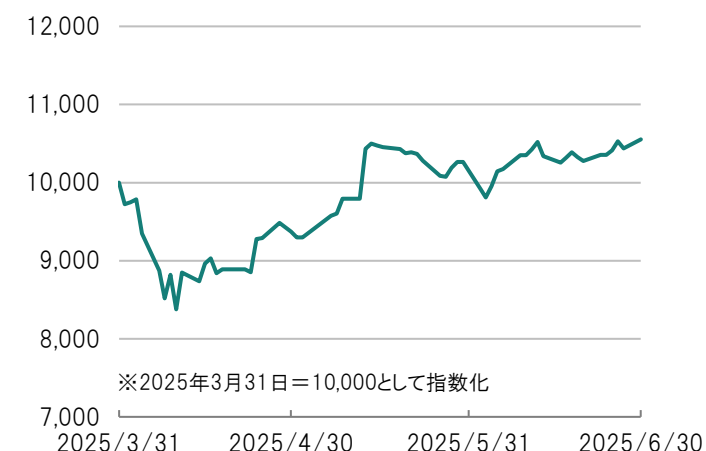
(期間:2025年3月31日～2025年6月30日)



GRAN NEXT モビリティ

- 米国の配車・デリバリーサービス企業であるウーバー・テクノロジーズは堅調な業績を背景に株価は堅調に推移。当ファンドのパフォーマンスにプラス寄与した。同社はウィーライド、ウェイモといった自動運転企業と個別にパートナーシップを結んで様々な都市や地域での自動運転サービス拡充を進めており、直近は中国の自動運転企業ポニー・エーアイの米国事業買収に資金提供する交渉を行っているとの報道された。
- 米国の鉄道貨物企業ユニオン・パシフィックは、米トランプ政権下における米中貿易緊張の高まりと貿易量への影響に対する不確実性により株価が下落し当ファンドのマイナス要因となった。

(期間:2025年3月31日～2025年6月30日)



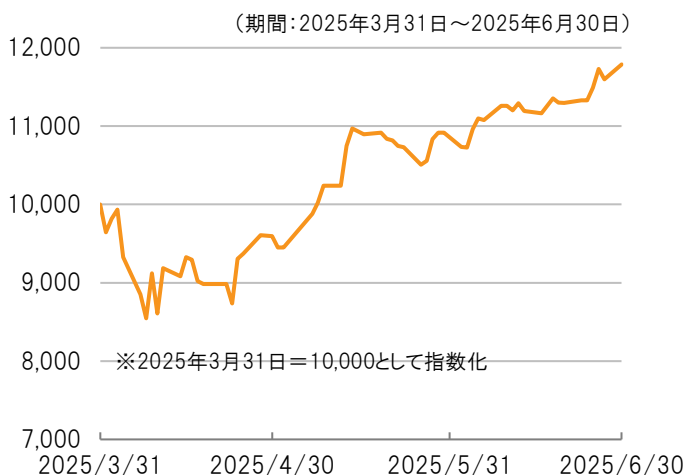
・基準価額(分配金再投資)は、運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。・信託報酬率は、後記の「ファンドの費用」に記載しています。・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。・上記は2025年4-6月における運用状況をご説明したものです。したがって、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、各ファンドおよび投資対象ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

2025年4-6月の運用状況と基準価額(分配金再投資)の推移



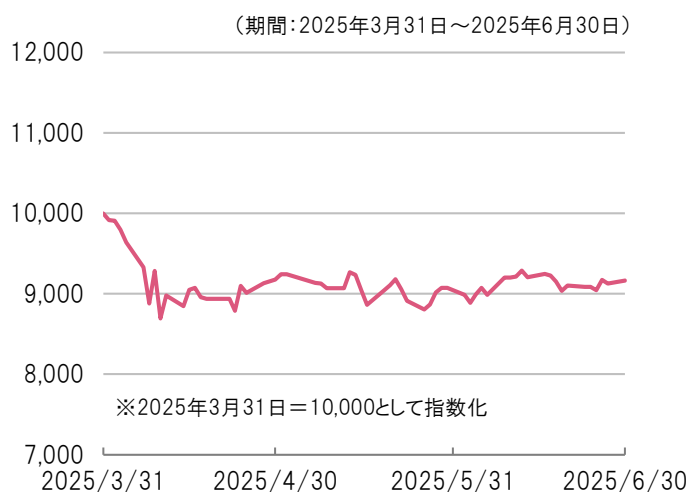
GRAN NEXT テクノロジー

- 当四半期、テクノロジーセクターは半導体関連、ソフトウェア関連の銘柄が大きくパフォーマンスを押し上げた。
- 個別銘柄では、堅調なAI需要拡大を背景に決算が好調だったエヌビディアや、グーグルやメタ向けにカスタムAIを提供しているブロードコムが大きくファンドのパフォーマンスに貢献。ソフトウェア関連でもAI関連事業を積極的に拡大しインフラ投資を積極的に行っているマイクロソフトやオラクルが大きく株価を上げ、当ファンドのパフォーマンスにプラスに寄与した。



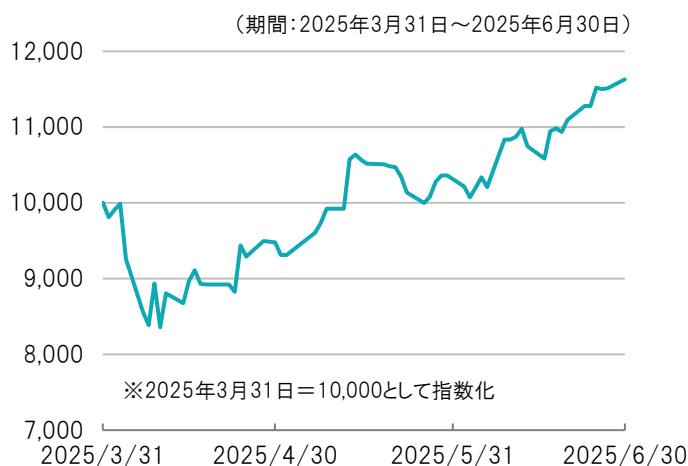
GRAN NEXT ヘルスサイエンス

- 連邦予算の抜本的な見直しにより、米国の公的医療支出に対して大幅な削減方針が示されたほか、大統領令によって医薬品価格を他の先進国の最低水準に連動させる制度改革が打ち出されたことなどが市場に警戒感をもたらし、ヘルスサイエンスセクターは大きく調整する局面となった。
- ユナイテッドヘルスはCEO交代と業績見通しガイダンスの撤回が嫌気され、株価が下落し当ファンドのパフォーマンスにマイナスの影響を与えた。イーライリリー等製薬関連銘柄においては、新薬開発や買収によるパイプライン拡充という成長期待とトランプ政権による薬価政策の不透明さが交錯する展開となった。



GRAN NEXT フィナンシャルズ

- ステ이블コイン「USDC」の発行で知られるブロックチェーンインフラ企業のサークルは、上場後に株価が急騰し、当四半期の運用成績において最大のプラス寄与銘柄となった。6月下旬にはIPO価格の約8倍となる263ドルを記録しており、規制環境下でのデジタル資産関連企業への期待感に加え、同社の高い規制対応力や戦略的提携が市場から評価された。さらに、米国での「GENIUS法」審議進展によるステ이블コインに関するルールの明確化も追い風となり、勢いのある上場事例となった。



・基準価額(分配金再投資)は、運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。・信託報酬率は、後記の「ファンドの費用」に記載しています。・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。・上記は2025年4-6月における運用状況をご説明したものです。したがって、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、各ファンドおよび投資対象ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

今後3ヵ月から6ヵ月にわたる市場環境等の見通し



GRAN NEXT エネルギー

米国IRA政策の転換とAIによる電力需要拡大で再生可能エネルギーに再注目



- 米国のインフレ抑制法(IRA)に対する政策の方向性が明確化されつつある中、持続可能なエネルギー分野への投資環境は改善傾向にあると考える。特に大規模な再生可能エネルギー事業支援が継続される見通しとなったことから、関連銘柄の再評価が進行していると見ている。
- AIの普及等に伴う電力需要は引き続き増加すると予測されており、再生可能エネルギーの重要性は一層高まると考える。



GRAN NEXT フード

持続可能な食に関する政策や技術発展によるコスト減に注目



- 国際社会で食料安全保障への関心が高まる中、持続可能な食料システムの構築や、安定した農産物市場および貿易体制の形成に向けた取り組みが進められている。これに加え、食に関するテーマを支援する政策や、民間レベルでの活動も広がりを見せており、温室効果ガスの排出削減、テクノロジーを活用した農業の生産性向上、代替食品の技術革新による生産コストの低下など、構造的な変化が食料分野の企業にとって追い風になると見ている。
- EUの「グリーン・ディール産業計画(GDIP)」(脱炭素と経済成長の両立を図る成長戦略)などの政策支援に加え、技術革新と消費者の環境意識の高まりが重なり、持続可能な食の未来を支える企業の成長が加速していると考えられる。



GRAN NEXT モビリティ

生成AIによる技術発展に注目



- 2025年はEV普及の転換点となる可能性が高まっていると考える。欧州では低価格帯モデルの登場や排出規制強化を背景に販売が加速し、中国でも買い替え支援策の継続により需要が堅調である。米国では関税政策を巡る不透明感が残るものの、今後の政策明確化が期待されると考える。
- EV関連企業のバリュエーションは依然割安で、電動化・自動運転・コネクティビティといった構造変化が成長機会を提供していると考えられる。特に生成AIの進展によりADAS(先進運転支援システム)や自動運転開発が加速する可能性が高く、注目している。

・画像はイメージです。

・市況の変動等により、上記の運用方針通りの運用が行えない場合があります。

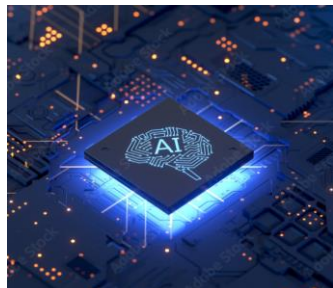
・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

今後3ヵ月から6ヵ月にわたる市場環境等の見通し



GRAN NEXT テクノロジー

市場回復と新興技術企業への選別投資に注目



- 最近の市場回復により、質の高いAI関連の基盤技術や応用分野で先行する企業の価値が改めて評価されている。ファンドでは、AIを収益につなげる明確な戦略と、長期的な競争力を持つ企業の中から、将来的な成長に対して割安と判断される銘柄を厳選して投資している。
- 世界のテクノロジーセクターは事業の多角化が進む少数の巨大企業によって支配されている一方で、巨大企業に含まれない多くの企業にも新たな成長機会が広がっていると考えます。大型株のみならず、中小型株にも投資しており、これらの企業は巨大企業と比べて、新興技術に直接的に取り組んでいる点で、投資対象としての魅力が高いと考えます。



GRAN NEXT ヘルスサイエンス

不透明な環境下でも堅調な成長分野に注目



- 新政権のもと、一部のヘルスサイエンス業種では引き続き不安定な値動きが見られる可能性があるものの、政策変更が即座かつ一方的に進む可能性は低いと見ている。業績の安定性が高く、現在の株価バリュエーションが長期平均を下回っていることから、当セクターには良好なリスク・リターン投資環境が整っていると判断している。
- 長期的には、先進国・新興国の高齢化に加え、医療分野における科学技術の進展といった構造的な成長要因が引き続き存在している。これらの長期的なトレンドと、現在の割安なバリュエーションが重なることで、ヘルスサイエンスセクターは魅力的な長期投資機会を提供していると考えます。



GRAN NEXT フィナンシャルズ

割安感と政策転換が支える分野に注目



- 米国の金融セクターについては、規制緩和の動きや国内投資の回復、M&Aや資本市場の活性化、法人税率の安定または引き下げといった複数の前向きな要因があると見ている。また、欧州の金融セクターにも注目しており、世界の株式市場と比べて依然として割安な水準で取引されていることから、選別的な投資機会があると考えます。

・画像はイメージです。

・市況の変動等により、上記の運用方針通りの運用が行えない場合があります。

・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

ブラックロック ピックアップテーマ



GRAN NEXT フィナンシャルズ

米国で進むステーブルコインの規制整備、“本格的な金融革命”到来か

金融セクターの長期的な魅力 —— 規制緩和とAI投資がもたらす構造的変化

金融セクターは、金融規制の緩和とAI投資の加速を背景に再成長が期待されます。IPO(新規株式公開)の活性化や法整備により、フィンテック企業の収益拡大が見込まれます。さらに、AIの活用が信用スコアリングやリスク管理を高度化し、従来型金融機関にも追い風となっています。

当ファンドは、従来型金融機関とフィンテック企業の両方に投資しており、金融業界の構造的変化を捉え、収益向上を目指します。

ステーブルコインがもたらす未来の金融インフラ

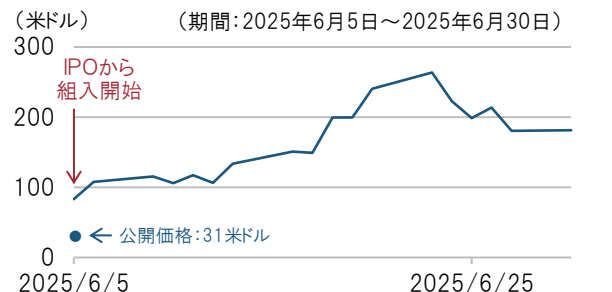
ステーブルコインとは、価格の安定性を重視して設計された暗号資産で、主に米ドルなどの法定通貨に連動させることで、暗号資産特有の価格変動リスクを抑えています。主な種類には、法定通貨を準備金として保有する「法定通貨担保型(例:USDT、USDC)」、他の暗号資産を担保にする「暗号資産担保型(例:DAI)」、供給量を調整して価格を安定させる「無担保型(例:UST)」等があります。

ステーブルコインは、ブロックチェーン上の“デジタル現金”として、従来の通貨とデジタル経済の橋渡しとして機能し、365日利用可能で、価格の安定性に加え即時送金が可能なことから、国際送金やB2B決済に革新をもたらしています。また、インターネット接続さえあれば誰でも保有・送金ができ、銀行口座を持たない層でもスマートフォンとウォレットで金融サービスにアクセスできるため、金融包摂の観点からも注目されています。最近では、米国のGENIUS法などにより規制が整備され、発行体の準備金報告や監査義務が強化されることで、透明性と信頼性も向上しています。

■サークル・インターネット・グループ

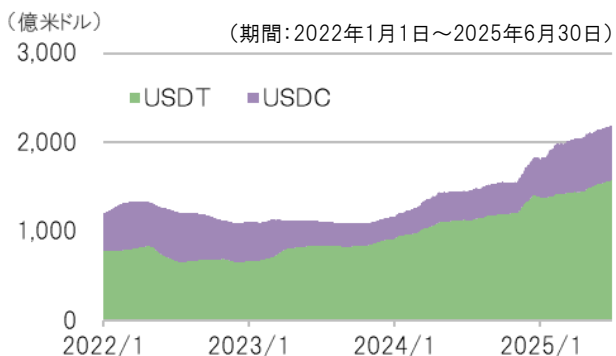
米国のブロックチェーン基盤企業で、時価総額第2位のステーブルコイン「USDC」の発行企業です。2025年6月のIPOでは、GENIUS法案の可決等を背景に機関投資家の需要が拡大、公開価格31米ドルに対して終値83米ドルとなる大型IPOとなりました。

【株価の推移】



ステーブルコインは、安定した価値と即時送金の利便性から、国際決済やDeFi*分野(分散型金融)での活用が進み、市場拡大が期待されています。

■ステーブルコイン時価総額上位2銘柄の時価総額推移



*ブロックチェーン技術を用いて、銀行等の中央集権的な管理者/管理事業者を介さずに取引可能な金融の仕組みのこと

※米国における規制動向であり、日本国内の制度とは異なります。

■ペイパル・ホールディングス

2023年にステーブルコイン「PYUSD」を発行し、ブロックチェーン技術を活用した金融サービスに本格参入しました。2025年、米国ユーザー向けにPYUSD残高に年利3.7%の利息を付与する報酬プログラムの導入を発表、今後の利用促進が期待されます。

【株価の推移】



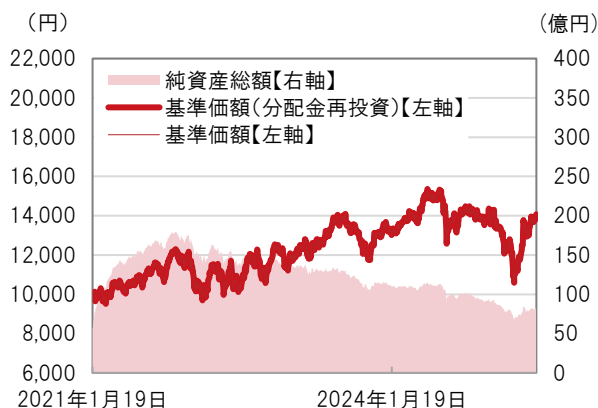
・上記はフィナンシャルズ分野のトピックをご紹介したものです。したがって、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドおよび投資対象ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。・市況の変動等により方針通りの運用が行われない場合があります。

GRAN NEXTの設定来運用実績



GRAN NEXT エネルギー

(期間: 2021年1月19日～2025年6月30日)



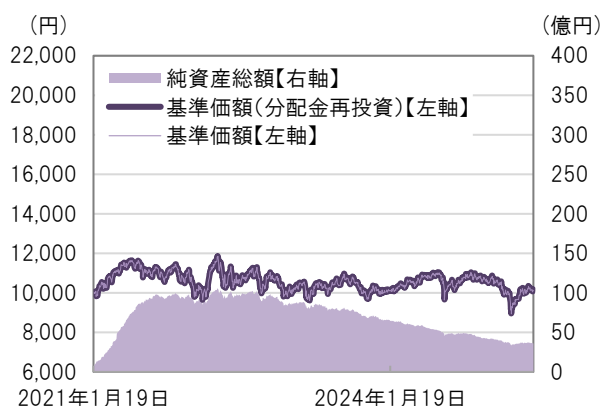
GRAN NEXT テクノロジー

(期間: 2021年1月19日～2025年6月30日)



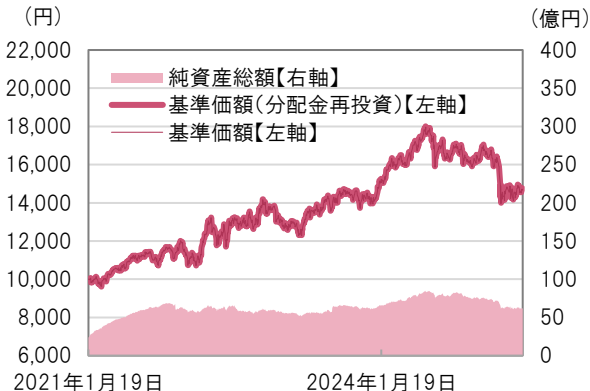
GRAN NEXT フード

(期間: 2021年1月19日～2025年6月30日)



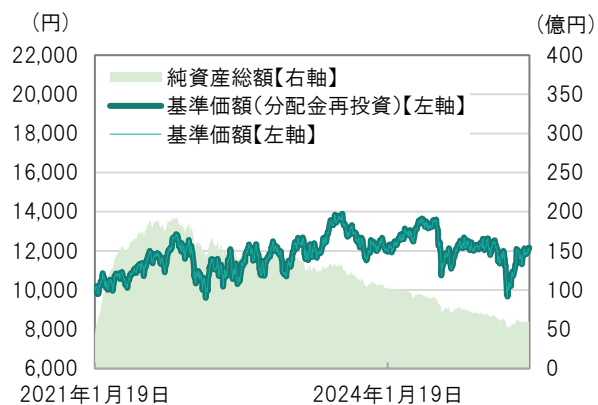
GRAN NEXT ヘルスサイエンス

(期間: 2021年1月19日～2025年6月30日)



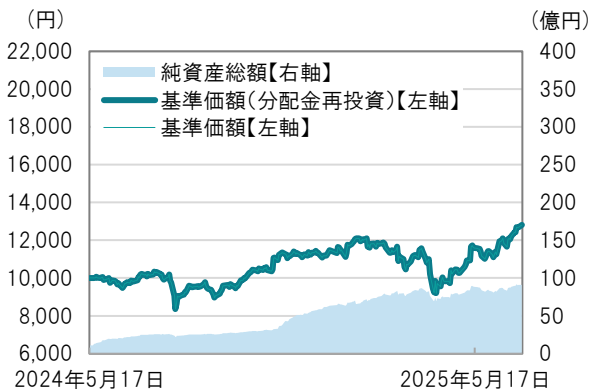
GRAN NEXT モビリティ

(期間: 2021年1月19日～2025年6月30日)



GRAN NEXT フィナンシャルズ

(期間: 2024年5月17日～2025年6月30日)



・基準価額、基準価額(分配金再投資)は、1万口当たりで運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。

・信託報酬率は、後記の「ファンドの費用」に記載しています。

・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。

■上記は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりません。

GRAN NEXT エネルギー/ GRAN NEXT フード/ GRAN NEXT モビリティ/
GRAN NEXT テクノロジー/ GRAN NEXT ヘルスサイエンス/ GRAN NEXT フィナンシャルズ

ファンドの目的

日本を含む世界各国(新興国を含みます。以下同じ。)の株式等を実質的な主要投資対象とし、主として中長期的な値上がり益の獲得をめざします。

ファンドの特色

1 GRAN NEXT エネルギー

主として日本を含む世界各国の持続可能なエネルギー関連企業の株式等(DR(預託証券)を含みます。)に投資を行います。

●持続可能なエネルギー関連企業とは、再生可能エネルギー技術・開発、代替燃料、エネルギー効率化、エネルギー貯蔵、エネルギー・インフラを含めた、代替エネルギーおよびエネルギー技術の分野で経済活動を行う企業。

GRAN NEXT フード

主として持続可能な食に関するテーマに取り組む日本を含む世界各国の食品・農業関連企業の株式等(DR(預託証券)を含みます。)に投資を行います。

●食品・農業関連企業とは、包装、加工、流通、技術、食品関連・農業関連サービス、種子、農業・食品添加物、食品生産の分野で経済活動を行う企業。

GRAN NEXT モビリティ

主として持続可能な輸送手段への移行から利益を得る日本を含む世界各国の輸送関連企業の株式等(DR(預託証券)を含みます。)に投資を行います。

●輸送関連企業とは、輸送に使用・適用されるテクノロジーの研究、開発、テクノロジーを利用した製品・サービスの製造、販売の分野で経済活動を行う企業。

GRAN NEXT テクノロジー

主として日本を含む世界各国のテクノロジー関連企業の株式等(DR(預託証券)を含みます。)に投資を行います。

GRAN NEXT ヘルスサイエンス

主として日本を含む世界各国のヘルスサイエンス関連企業の株式等(DR(預託証券)を含みます。)に投資を行います。

●ヘルスサイエンス関連企業とは、医療、医薬品、医療機器・用品、バイオテクノロジー開発の分野で経済活動を行う企業。

GRAN NEXT フィナンシャルズ

主として日本を含む世界各国の金融関連企業の株式等(DR(預託証券)を含みます。)に投資を行います。

・DR(預託証券)とは、ある国の企業の株式を当該国外の市場で流通させるため、現地法に従い発行した代替証券です。株式と同様に金融商品取引所等で取引されます。
※ 上記のファンド*1は、外国投資法人である投資対象ファンド*2の投資信託証券(クラスI・円建て(GRAN NEXT エネルギーはX2・円建て))を主要投資対象とします。また、マネー・マザーファンドへの投資も行います。

*1:ファンド	*2:投資対象ファンド
GRAN NEXT エネルギー	ブラックロック・グローバル・ファンズーサステナブル・エナジー・ファンド
GRAN NEXT フード	ブラックロック・グローバル・ファンズーニュートリション・ファンド
GRAN NEXT モビリティ	ブラックロック・グローバル・ファンズーフューチャー・オブ・トランスポート・ファンド
GRAN NEXT テクノロジー	ブラックロック・グローバル・ファンズーワールド・テクノロジー・ファンド
GRAN NEXT ヘルスサイエンス	ブラックロック・グローバル・ファンズーワールド・ヘルスサイエンス・ファンド
GRAN NEXT フィナンシャルズ	ブラックロック・グローバル・ファンズーワールド・フィナンシャルズ・ファンド

2 GRAN NEXT エネルギー/GRAN NEXT フード /GRAN NEXT モビリティ

持続可能な各投資テーマの関連企業の株式等の中から、独自の詳細な企業調査・分析を行い、ポートフォリオ構築を行います。

GRAN NEXT テクノロジー/GRAN NEXTヘルスサイエンス/GRAN NEXTフィナンシャルズ

各投資テーマの関連企業の株式等の中から、独自の詳細な企業調査・分析を行い、ポートフォリオ構築を行います。

3 各外国投資法人の運用は、ブラックロックグループの投資顧問会社*3が行います。

●ブラックロックグループは1988年に設立され、世界35カ国以上に拠点を有する独立系の資産運用会社グループです。

●同グループは世界に約2,800名の運用のプロフェッショナルを有し、世界最大級の運用資産残高約1,815兆円を誇ります。
(2024年12月末時点、為替レートは1米ドル＝157.16円)

●各外国投資法人を運用する株式チームは、充実した調査体制を有しており、同グループのリソースを最大限に活用します。

*3 ブラックロックグループの投資顧問会社は、ブラックロック・ファイナンシャル・マネジメント・インク[米国]、ブラックロック・インベストメント・マネジメント LLC[米国]、ブラックロック・インベストメント・マネジメント(UK)リミテッド[イギリス]、ブラックロック(シンガポール)リミテッド[シンガポール]のことをいいます。
・顧問会社は、運用の指図権限をさらにブラックロックグループの他の会社に委託する場合があります。

(出所)ブラックロックの資料を基に三菱UFJアセットマネジメント作成

4 原則として、為替ヘッジを行いません。

●実質組入外貨建資産について、原則として為替ヘッジを行わないため、為替相場の変動による影響を受けます。

5 年1回の決算時(1月19日(休業日の場合は翌営業日))に分配金額を決定します。

●分配金額は委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。(基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。)

将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

GRAN NEXT マネープールファンド

ファンドの目的

わが国の公社債等を実質的な主要投資対象とし、主として安定した利子収益の確保をめざします。

ファンドの特色

- 1 わが国の短期公社債等を中心に投資し、主として安定した利子等収益の確保を図ります。
※実際の運用はマネー・マザーファンド受益証券を通じて行います。
- 2 年1回の決算時(1月19日(休業日の場合は翌営業日))に分配金額を決定します。
分配金額は委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。
分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。(基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。)

将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

投資リスク

基準価額の変動要因:「GRAN NEXT エネルギー/GRAN NEXT フード/GRAN NEXT モビリティ/GRAN NEXT テクノロジー/GRAN NEXT ヘルスサイエンス/GRAN NEXT フィナンシャルズ」の基準価額は、株式市場の相場変動による組入株式の価格変動、為替相場の変動等、「GRAN NEXT マネープールファンド」の基準価額は、金利変動による組入公社債の価格変動等により上下します。また、組入有価証券等の発行者等の経営財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の影響を受けます。これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。「GRAN NEXT エネルギー/GRAN NEXT フード/GRAN NEXT モビリティ/GRAN NEXT テクノロジー/GRAN NEXT ヘルスサイエンス/GRAN NEXT フィナンシャルズ」の主な変動要因は、価格変動リスク、特定のテーマに沿った銘柄に投資するリスク、為替変動リスク、信用リスク、流動性リスク、カントリーリスクです。「GRAN NEXT マネープールファンド」の主な変動要因は、価格変動リスク、信用リスク、流動性リスクです。上記は主なリスクであり、これらに限定されるものではありません。くわしくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

ファンドの費用

◎お客さまが直接的に負担する費用

購入時	購入時手数料	購入価額に対して、 上限3.30%(税抜 3.00%) 販売会社が定めます。くわしくは、販売会社にご確認ください。 ※GRAN NEXT マネープールファンドは、かかりません。
換金時	信託財産留保額	ありません。

◎お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

保有期間中	運用管理費用 (信託報酬)	【GRAN NEXT エネルギー】 日々の純資産総額に対して、年率1.881%(税抜 年率1.710%)をかけた額 - 投資対象とする外国投資信託証券の投資顧問会社報酬:委託会社が受ける報酬から、当該外国投資信託証券のファンド組入額の年率0.68%以内が支払われます。 【GRAN NEXT フード】【GRAN NEXT モビリティ】 ■ 当該ファンド:日々の純資産総額に対して、年率1.133%(税抜 年率1.030%)をかけた額 ■ 投資対象とする投資信託証券:投資対象ファンドの純資産総額に対して年率0.68%(マネー・マザーファンドは除きます。) ■ 実質的な負担:ファンドの純資産総額に対して年率1.813%程度(税抜 年率1.710%程度) ※ 投資対象とする投資信託証券の信託(管理)報酬率を合わせた実質的な信託報酬率です。 【GRAN NEXT テクノロジー】【GRAN NEXT ヘルスサイエンス】【GRAN NEXT フィナンシャルズ】 ■ 当該ファンド:日々の純資産総額に対して、年率1.133%(税抜 年率1.030%)をかけた額 ■ 投資対象とする投資信託証券:投資対象ファンドの純資産総額に対して年率0.75%(マネー・マザーファンドは除きます。) ■ 実質的な負担:ファンドの純資産総額に対して年率1.883%程度(税抜 年率1.780%程度) ※ 投資対象とする投資信託証券の信託(管理)報酬率を合わせた実質的な信託報酬率です。 ※ 投資対象とする外国投資信託証券では、保管報酬および事務処理に要する諸費用が別途投資対象ファンドから支払われます。また、投資対象とする外国投資信託証券で有価証券の貸付を行った場合、その収益の一部がブラックロックグループの会社へ支払われます。投資対象とする外国投資信託証券においては、実質的な保管報酬および事務処理に要する諸費用は事前に把握ができないため表示しておりません。 【GRAN NEXT マネープールファンド】 日々の純資産総額に対して、年率0.605%(税抜 年率0.550%)以内をかけた額
	その他の費用・手数料	以下の費用・手数料についてもファンドが負担します。 ・監査法人に支払われるファンドの監査費用・有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料・投資対象とする投資信託証券における諸費用および税金等(GRAN NEXT マネープールファンドを除く各ファンド)・有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用・その他信託事務の処理にかかる諸費用 等 ※上記の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。

※運用管理費用(信託報酬)および監査費用は、日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。GRAN NEXT フィナンシャルズを除く各ファンドについては、毎計算期間の6ヵ月終了時、毎決算時または償還時にファンドから支払われます。GRAN NEXT フィナンシャルズについては、第2計算期間以降の毎計算期間の6ヵ月終了時、毎決算時または償還時にファンドから支払われます。
※ファンドの費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。なお、ファンドが負担する費用(手数料等)の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。

商号	登録番号等		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
株式会社三菱UFJ銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○		○	○
株式会社三菱UFJ銀行(委託金融商品取引業者 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○		○	○
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2336号	○	○	○	○

設定・運用は

三菱UFJアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号、加入協会：一般社団法人 投資信託協会／一般社団法人 日本投資顧問業協会

【本資料で使用している指数について】

■ヘルスケア株式:MSCI ワールド・ヘルスケア・インデックス

■先進国株式:MSCI ワールド・インデックス

(それぞれ米ドルベース)

本資料中の指数等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。また、発行者および許諾者が指数等の正確性、完全性を保証するものではありません。各指数等に関する免責事項等については、委託会社のホームページ(<https://www.am.mufg.jp/other/disclaimer.html>)をあわせてご確認ください。

【GICS(世界産業分類基準)について】

Global Industry Classification Standard(“GICS”)は、MSCI Inc. とS&P(Standard & Poor’s)が開発した業種分類です。GICSに関する知的財産所有権はMSCI Inc. およびS&Pに帰属します。

本資料に関するご注意事項等

■本資料は三菱UFJアセットマネジメントが作成した情報提供資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

■本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。■投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。■投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。